

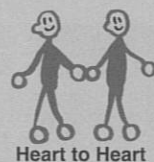
ともしび通信

コープともしびボランティア振興財団

〒658-0084 兵庫県神戸市東灘区甲南町2丁目1番20号(コープリビング甲南2階)

TEL078-412-3930 FAX078-412-3871

発行人=竹本 成徳 編集人=宮内 明彌



Heart to Heart

第37号

2003年10月発行

「ボランティアリーダーのためのコーディネーター研修」を開催

活動やグループのあり方を見直し、新たな活動意欲に

ボランティアリーダーは、グループリーダーであると同時に、活動を外部とつないだり、メンバーの力を引き出したりと、「コーディネーター」的な視点や力が必要になる——そんな視点にたった「ボランティアリーダーのためのコーディネーター研修」を、7月24日(木)、ひょうごボランティアプラザセミナー室で開催し、会場がいっぱいになるほどの51名が参加しました。

実はこの研修は、予定の倍近い申し込みがあり、今回受講頂けなかった方のために再度11月に開講することになりました。講師の大阪ボランティア協会 コーディネーター・海士美雪さんの巧みなアイスブレイクで、会場は一気に緊張から和やかな雰囲気。午前中からグループに分かれ、グループ活動のメリット、デメリットを話し合った後、メンバ

ーとグループの関係や自己チェック。

海士さんから「グループの活動目標が皆に明らかになっていきますか。活動にやる頻度が違っても、それぞれに出番と責任があるしくみになっていくのでしょうか。ボランティアはお金はもらわないけれど、社会的な課題を解決する活動として責任がありますよね」とのお話があ



り、それぞれ活動を振り返りつつ納得。午後は、午前とは違うメンバーとのグループ分けで着席し、事例検討。その後、活動の交流とこれからの「夢」を話し合い発表しました。

参加者アンケートでは、満足度が非常に高く、「メンバーに今日学んだことをぜひ伝えたいし、皆で話し合いたい」「活動をもっと広げたい」という意欲が湧いた」といった前向きな感想が寄せられました。

大好評の「傾聴ボランティア講座」開講

甲南、西宮で開催 活動を始める手がかりにも

今年2月に初めて開催した傾聴ボランティア講座ですが、予約待ちが定員の倍でるほどの人気となり、6月に再度、4回コースで企画し、コープリビング甲南多目的室で開催しました。さらに、9月には、3回コースで西宮コープ福祉・ボランティアセンターと共催で開催。

いずれの講座も、講師は聖マリーガレット生涯教育研究所主任 研究員・長尾文雄氏と、医師であり日本ホスピス在宅ケア研究会事務局局長でもある梁勝則氏。

6月の講座には、2月から予約待ちされていた方を中心に30名がワークショップ形式での講座に積極的に参加。講師の長尾先生からも、毎回受講生の方の表情が変わっていくのがわかると言っていたほどです。

3回目には梁勝則氏の「よりよいコミュニケーションのための3つの態度、3つの要素」についての講義を受けました。講義とはいえ、絶えず講師から「こんな場合どう応えますか」と問いかねがなされ、「傾聴」をい



9月13日、西宮コープセンターでのワークショップ。左が梁勝則氏

ざ実践する難しさに受講生がとまどう場面もありました。4回の講座を修了した受講生からは、今後、高齢者の話し相手、ホスピスや不登校の子どもへのボランティアなどで活動したいとの声が寄せられました。その後、協同の苑・K-メゾン

ときめきから傾聴ボランティアの要請があり、受講生の中からのコーディネーターにつながりました。9月には13日(土)午後、27日(土)午前、午後の3回、西宮コープセンターで開催。13日は梁先生がパワーポイントを使用し、コミュニケーションのポイントを事例を交えて講義。高齢者医療在宅ケアにかかわっておられる先生らしく、痴呆ケアについてのお話は具体的に非常にわかりやすいものでした。

「傾聴」をテーマにしたボランティア講座は、今後も受講生のフォローと新たな活動者育成にむけて継続していきます。